

# 自立的な学びの第一歩～スタティサポートを活用した振り返り～

令和2年4月24日（金）1学年

水戸二高に入学し、2週間が過ぎました。まだ高校生になった実感がわからないかもしれませんね。体調はいかがですか？例年であれば「予習→授業→復習」の学習サイクルに沿って、課題、小テストに取り組み、部活動にも参加しながら生活リズムがつかめてくる頃です。しかし、今は時間を持て余したり、この先のことを考えて「勉強を進めた方がいいよね」「でも何をやればいいのか」「周りの高校生から遅れてしまっているのでは」と焦りや不安を感じることもあるでしょう。休校期間中は自由に使える時間があります。この機会に自立して学ぶ力を高められるよう、以下の3点を心がけてみましょう。

## 1 休校期間の課題に取り組む

まずは休校期間中の課題にしっかりと向き合ってください。この課題は全員が同じ内容を決められた期間で行うものです。休校期間も1週間を過ぎたのでペースをつかめてきたと思いますが、こなすだけになっていないでしょうか。それでは不十分です。内容を理解しようとすることに重点をおいて取り組みましょう。

## 2 課題を把握し、目標を立てて学ぶ

次に、自立的な学習者になる第一歩を踏み出しましょう。そのためには何が大切だと思いますか？答えは「自分の課題を把握する」ことです。課題が分かれば、「自分に合った目標を立て、学びを進め、振り返り、次の課題を把握する」というサイクルが生まれます。休校期間の課題は全員共通ですが、各自の課題に応じた学習は個別化・最適化された学びにあたります。4月10日に受験したスタサポが返ってきました。このプリントの裏面を活用して個人診断レポートの〔総合結果〕を振り返ってください。それぞれ指摘されていることに心当たりはありませんか。アドバイスをふまえて自分の学びをコーディネートしましょう。

## 3 基礎基本の学び直しを行う

最後に、学力面では、「基礎基本のヌケモレを徹底的に補う」ことに尽きます。個人診断レポートの〔教科結果〕を振り返り、現時点での課題を明確にしましょう。現時点での課題とは、「中学校の学習範囲のヌケモレ」ということです。個人診断レポートはページの関係上、各教科1分野のみしかピックアップできません。しかし、対策が必要な分野は他にもあるはずですが、よくあることですが、生徒と面談していると「勉強しているのですが成績が伸びません」と相談されます。話を聞くうちに中学校の時点で苦手意識を持ち、そのままにしてしまったということが判明します。そういう時には、「今から遅くないからつまずきを感じたところに戻って勉強しよう」というアドバイスをします。みなさんも休校期間を利用して学び直しをしてみましょう。手元にある「整理と対策」などの教材で十分です。

## ☆5月6日までに取り組むこと☆

### ①スタディサポートの活用

1 目的 学習事項のヌケモレ対策

2 学習方法

- ①ノートを1冊用意する（今後、「模試復習ノート」として使用する）。
- ②1周目 5月2日（土）までに「個人診断レポート」の問題を冊子本体に全問解答し、丸付けをする。
- ③1周目でできなかった問題は「個人診断レポート」冊子の問題番号に丸印をつける。
- ④2周目 5月6日（水）までに1周目で間違えた問題をノートに解答し、丸付けをする。
- ⑤2周目でできなかった問題は、「個人診断レポート」冊子の問題番号に丸印をつける（2回目もできなかった問題には二重丸がつく）。
- ⑥3周目 2周目で間違えた問題をノートに解答し、丸付けをする。

3 提出日 次回登校日

4 提出物 「結果振り返りシート」「個人診断レポート」

### ②マナビジョンへの初期登録

今回の郵送物に「教育情報ネットワーク アカウント」のメールアドレスが入っています。マナビジョンのトップページを開き、メールアドレスを登録してください。

[学校コード] [ログインID] は「個人診断レポート」の表紙に記載されています。マナビジョンは、模試の目標設定、自己採点結果やポートフォリオの入力など、今後活用していきましょう。

初期登録はこちらから



登録がうまくいかないときはこちらへ

